泊発電所3号炉

審査取りまとめ資料への基準適合に係る設計と最新審査知見の反映について

本紙は、泊発電所3号炉(以降、「泊3号炉」という。)の審査取りまとめ資料(以降、「まとめ資料」という。)へ「基準適合に係る設計」と「最新審査知見」を反映するために選定する比較対象プラントと、その選定理由について整理を行った。

- ➤ 2017年3月に泊3号炉のまとめ資料を提出した時点では、新規制基準適合性審査は PWR プラントが中心であったが、現在は BWR プラントが中心となっており、それぞれの炉型の審査結果が積み上がっている状況
- ➤ 泊3号炉の地震・津波側審査が進捗した時点(2021年7月)においては、PWR プラントでは大飯3/4号炉が再稼働審査の最終実績であり、BWR プラントでは女川2号炉が至近での許可済プラントであった。
- ➤ 従って、泊3号炉の比較対象は、女川2号炉(BWR)と大飯3/4号炉(PWR)の2プラントを基本とする。
 - ✓ 比較する内容を「基準適合に係る設計」と「最新審査知見」の2つに分類し、比較する内容によって女川2号炉(BWR)と大飯3/4号炉(PWR)から適切なプラントを選定する。
 - ✓ 施設・設備や運用・手順といった技術的事項等に鑑みて、必要に応じて上記2プラント以外からも比較対象プラントを選定する。(各条文、審査項目、資料独自の事情を踏まえる。)
- ▶ 比較する目的は、下記の通り。
 - ✓ 基準適合に係る設計:必要な施設、設備や運用・手順といった技術的事項、基準適合の考え方等で構成される新規制基準に適合するための計画を参照するため
 - ✓ 最新審査知見 : 文言単位での比較によらず得られる、主に以下の事柄を参照 するため
 - 基準適合上、考慮すべき事項(これまでの審査で議論 されていない内容、充実が図られた内容)
 - 基準適合性を示すための説明の範囲、深さ
 - 設置(変更)許可申請書に記載する範囲、深さ
- ▶ 比較対象を選定する考え方は、以下の通り。
 - ✓ 基準適合に係る設計:至近の審査済みプラントの中から、各条文・審査項目の要求 を踏まえ、要求を満たすための設備構成・仕様、環境、運用 などの相似性があるプラントを選定する

✓ 最新審查知見

: 炉型によらず基準適合性を説明する上で反映すべきものであることから、最新審査知見を反映するために分析するプラントは、まとめ資料を作成している時点で最新の許可済プラントとする。

- 女川 2 号炉を比較対象として選定する(泊 3 号炉の地震・津波側審査が進捗した時点(2021 年 7 月)における最新の許可済プラント)
- ▶ 内容を比較するための方法は、以下の通り。
 - ✓ 基準適合に係る設計:比較表により、以下の通り比較する。
 - 文章の章項立てや文言単位に至るまで網羅的に比較 し、同一性、相違点や差分、独自性を示す。
 - 女川 2 号炉を比較対象プラントとした場合、最新審査 知見の反映も実施したものと整理する。
 - ✓ 最新審査知見

:以下の(a)を全ての条文・審査項目に対して実施し、各条文・審査項目の文章構成の類似程度に鑑みて(b)または(c)を選択して実施する。

- (a) 資料構成の比較
- (b) 個別の資料内の目次、目次よりも詳細な項目立て、基 準適合の主旨に係る記載の比較
- (c) 比較表により、文言単位の比較は行わず、基準適合上で考慮すべき事項、記載内容の充実を図るべき点の比較・整理を行う。(比較には文章構成にある程度の類似性が必要)
- ▶ 上述に基づく検討結果として、「基準適合に係る設計」と「最新審査知見」を反映するために選定した比較対象プラント一覧とその選定理由を別紙1に、条文・審査項目毎の詳細を別紙2に示す。

✓ 別紙1:比較対象プラント一覧

✔ 別紙2:比較対象プラント選定の詳細

以上